

平成23年度 予算の概要

一般会計予算を 4日間集中審議!

今定例会に、平成23年度一般会計予算と特別会計予算を合わせて334億8853万7千円が提出され、一般会計予算審議は予算審査特別委員会で4日間、特別会計予算審議は建設環境委員会及び市民厚生委員会で行われ、通算6日間にわたり慎重に審査され、それぞれ原案のとおり可決されました。

平成23年度の一般会計予算は216億4400万円、前年度に比べて1.4%の増加となりました。大規模事業（牛浜駅自由通路整備事業・福生病院組合建設費負担金・子ども手当支給事業費）を除いた比較では、0.9%の減額となっています。

特別会計予算は1億8445万3千7百円、前年度に比べて2.9%の増加となり、一般会計と特別会計を合計した当初予算額は334億8853万7千円で、前年度に比べて2.0%の増加となりました。

一般会計予算の審査から

地方交付税 国の方向性は

問 地方交付税は国の地方財政計画の増で2900万円増額になったが、市税が落ち込む中で純粋に増加したのは地方交付税だけで、地方交付税がなければ予算の編成は厳しかったのではないかと、来年度以降はどうか、国の方向性について考えを伺いたい。

答 22年度の市税の落ち込みを反映しているもので、市税の減と交付税の増はある程度シーソーのような状況で、市税の

減を補完する形になっている。

問 23年度の見込みとしては、市税の堅実な増加が財政の基本的な安定につながるかと考えているので、経済情勢の回復が必要不可欠だが、その意味では23年度以降も大幅な増加は期待できず、地方交付税を含めた国の予算の状況を見ながら対応していきたい。

緊急雇用創出事業の 内容は

問 緊急雇用創出事業臨時特別補助金の中の緊急雇用対策分の事業名を伺いたい。

答 緊急雇用創出事業と重点分野雇用創出事業の二分野に分かれており、緊急雇用創出事業では申告会場等整理案内事業、福生南公園駐車場利用状況調査委託、市史資料デジタルデータ化事業、ホームページ改良事業に伴うデータ移行委託事業、図書館資料整備事業、公園・緑地、道路等施設の総点検事業、ふっさっ子の広場事業、中央図書館ビジネスしごと支援推進事業、保健衛生事務、環境業務補助の10事業である。重点分野雇用創出事業では地域ブランド発信モデル事業、まちづくり振興推進事業委託、ロケ支援・福生ドッグブランド構築事業、清潔で美しいまちづくり事業、子育て支援カード協賛店等アンケート調査委託、福生市スポーツ振興基本計画策定事業、学校ICT支援員活用事業、介護人材育成委託事業の8事業である。

投票率向上への 工夫は

問 今回の市議会議員選挙費として3461万4千円を予算計上しているが、投票率の向上策、開票事務の改善についてどのような施策を考えているか。

答 小・中学生のポストカードコンクールによる啓発や、明るい選挙推進委員により投票率アップに向けた様々な啓発活動を実施している。成人式や桜まつり等のイベント会場や駅周辺での啓発活動、啓発広報「白ばら」の配布や、新成人の方に選挙の立会人になっていただ

いて若い人達への投票を呼びかけている。開票事務の改善では、開票を立ってスピーディに行うとか、スムーズな開票の方法を研究したりして改善に努めていきたい。

ホームページの 更新について

問 ホームページが全面的にリニューアルされるとのことだが、時期を伺いたい。また、多言語対応事業も含まれているのかどうか伺いたい。

答 最適な情報分類でだれにでもわかりやすいこと、利用者のだれもが容易にアクセスして正確な情報を得ることができると、新機能が十分に携帯サイトページがホームページの編集画面を利用し、サイトの質を保ちながらだれでも容易にページの作成ができることを基本方針とし、9月のリニューアルオープンを予定している。また、多言語翻訳システムは、22年度に3カ国語を導入したが、23年10月にはスペイン語、ポルトガル語を追加して外国人の利便性を図っていきたい。

チャレンジャー支援 貸付事業とは

問 チャレンジャー支援貸付事業の内容は。

答 平成20年度から3年間の時限措置で実施されていた生活安定応援事業の終了に伴い、23年度からの都補助事業として計上したもので、学習塾、各種受験対策講座、通信講座、補習講座等の受講費用及び高校、大学の受験費用を捻出できない低

所得者に対して必要な資金を無利子で貸し付け、低所得者世帯の子どもを支援しようとする事業で、東京都社会福祉協議会が実施主体で、受付業務を福生市社会福祉協議会に委託するものである。

子ども手当の 支給要件が変わるのか

問 平成22年度の子ども手当の支給人員が7726人、23年度が7149人で、年度当初で子どもが5777人減少しているのか、それとも支給条件が変わるのか伺いたい。

答 最も適切な情報分類でだれにでもわかりやすいこと、利用者のだれもが容易にアクセスして正確な情報を得ることができると、新機能が十分に携帯サイトページがホームページの編集画面を利用し、サイトの質を保ちながらだれでも容易にページの作成ができることを基本方針とし、9月のリニューアルオープンを予定している。また、多言語翻訳システムは、22年度に3カ国語を導入したが、23年10月にはスペイン語、ポルトガル語を追加して外国人の利便性を図っていきたい。

ワクチン接種の 費用対効果は

問 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンが、自己負担1割で平成23年度までの事業でできるが、当初見込みと今後の予想の費用対効果について伺いたい。また、PRはどのように進め、市内で接種できる病院はどのぐらいあるのか。

答 金額は算定していないが、事前にワクチン

第三市営住宅エレベーター 設置事業について

問 平成23年から25年の工事で進められる第三市営住宅エレベーター設置は、どのように進められるのか伺いたい。

答 23年度は1、2号棟、24年度は3、5号棟、25年度は4号棟と、号棟ごとに1基ずつ設置の予定である。

小学校校庭整備 事業について

問 第二小学校の芝生化予算は、昨年の四小の工事費より336万余円多いが、その理由と、二小の2016万余円の工事請負費の内訳を、また、既に施工された四小のその後の芝生管理について伺いたい。

答 二小と四小の事業費の差は、四小は駒沢競技場改修の際に譲り受けた芝で、平米当たりの単価が低価格なことによるもの。また、工事請負費の内訳は、クレイ舗装の校庭整備に650万円、排水設備や校舎前の舗装関係で1130万円等である。四小の管理運営は学校、地域、PTAで運営委員会を発足させて今後の運営を行っていくことになっている。



▲平成23年度一般会計予算を起立多数で可決

平成23年度 各会計予算規模 (人口 23.1.1現在 59,970人)

会計区分	23年度予算	前年度比%	市民1人当たりの額
一般会計	216億4,400万円	1.4	36万 914円
特別会計			
国民健康保険特別会計	64億 194万5千円	5.4	10万6,752円
介護保険特別会計	31億4,091万3千円	5.5	5万2,375円
後期高齢者医療特別会計	8億5,771万2千円	3.1	1万4,302円
下水道事業会計	14億4,396万7千円	△10.9	2万4,078円
総合計	334億8,853万7千円	2.0	55万8,421円

平成23年度一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合

歳入	平成23年度	平成22年度	歳出	平成23年度	平成22年度
市税	79億7,150万円 (36.8%)		民生費	99億5,061万円 (46.0%)	
国庫支出金	38億905万円 (17.6%)		衛生費	27億3,540万円 (12.6%)	
都支出金	31億2,414万円 (14.4%)		総務費	22億6,753万円 (10.5%)	
地方交付税	28億3,400万円 (13.1%)		教育費	22億2,026万円 (10.2%)	
基地交付金	14億5,729万円 (6.7%)		土木費	15億2,318万円 (7.0%)	
地方消費税交付金	5億9,443万円 (2.8%)		公債費	12億2,522万円 (5.7%)	
市債	4億280万円 (1.9%)		消防費	8億8,425万円 (4.1%)	
使用料及び手数料	3億7,985万円 (1.8%)		議会費	3億5,159万円 (1.6%)	
繰入金	3億558万円 (1.4%)		諸支出金	1億8,745万円 (0.9%)	
分担金及び負担金	2億406万円 (0.9%)		商工費	1億8,597万円 (0.9%)	
その他	5億6,130万円 (2.6%)		その他	1億1,254万円 (0.5%)	
歳入合計	216億4,400万円		歳出合計	216億4,400万円	